

りとるらいふ通信

(社福) みんなでいきる
障害福祉サポートセンター
りとるらいふ
発行日: 2022年6月

6月と言えば…じめじめとした梅雨が始まりますね。そんな6月のことを「水無月」と言います。あれ…梅雨なのに「水が無い月」!? そう、疑問に思い調べたところ、諸説ありますが…昔は6月に田に水を引く時期で、余分な「水」が「無い」「月」=「水無月」だそうです。月の名前に関わる程、昔から「水」や「農作物」は人間にとって重要な物だったのですね。「農作物」と言えば…「きら」と「ふぁみりあ」では野菜を植えました🍅🥕🥒豊作を期待しています。さて、6月のりとる通信は写真をメインにお伝えします。それでは、どうぞ!!!



新入職員紹介



金井 香世子職員

4月に入職しました金井香世子と申します。まだまだ分からないことだらけですが、子供たちの笑顔は元気の源です。一日も早く仕事を覚えて子供たちにたくさんの笑顔をお届けられる様に頑張ります! よろしくお願ひ致します。



瀧澤 直子職員

4月より入社いたしました瀧澤直子と申します。以前は「みんなでいきる」の高齢部で勤務をしていました。現在、ふぁみりあで主に日中の勤務しており、皆様が過ごしやすい環境を作って行けたらと思っております。日々頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



堀川 久美子職員

4月より入職しました堀川久美子と申します。私はりとるらいふがNPOだった頃にも職員としてお世話になっていました。ご利用者の笑顔やいきいきした表情に少しでも繋がるような支援ができるよう、関わりを大切にしたいと思います。よろしくお願ひいたします。



リレーエッセイ



「おすすめのラーメン屋さん？」

きら 山本 青奈 職員
入職当時、私は車を持っておらず、古びた自転車と自分の足が、移動手段の全てでした🚲 ネットサーフィンをしていて、「ここに行ってみよう」と素敵なお店を発見しても、車での移動が不可欠な遠い所ばかり…。愕然としていた頃、愛(自転)車で近所を散策していたときに見つけた『中華そば 立川』は、出会えてよかった😊 近くにあってくれてありがとう😊 と感じている、おすすめのラーメン屋さんです🍜 あっさり、こってり味の両方がある、麺も具も量が多く、女性一人でも入りやすい雰囲気は、個人的にラーメン屋さんを求める条件全てが叶ったお店でした。今では晴れて車持ちになった私ですが、当時と変わらず通っています。きっとカウンター席で一人、麺を吸っていると思いますので、見かけた方はそっと微笑んで貰えると嬉しいです😊



今回のテーマ

「思い出の一曲を
(思い出と一緒に) 教えて下さい🎵」

「幼少期の思い出」

とも 相馬 正幸 職員
私の幼少期と言えば、今から四十数年前の事の話になります🗨️
今とは違い、ゲーム機や携帯電話等、無縁の時代でした。田舎出身の私は、遊びと言えば室外での遊びでした🏡
夏には川や池で釣り🎣をしたり、泳いだり🏊、夜になると田んぼには、蛍がたくさん飛んで綺麗でした。山に入るとは、クワガタやカブトムシを捕まえて楽しんでいました。冬になると、スキー🎿を履いて裏山へ行き、自然の中で遊んでいました。お話の内容の通り、勉強より遊びの幼少期でした。

今では、なかなか出来ない遊びをして、懐かしい思い出であります😊



今回のテーマ

「自分が得意なこと」



★ 職員にインタビュー



今年度、異動した職員3名にインタビューしてみました。

【質問: 異動されて2ヶ月が経ちましたが、新しい職場で楽しいと思うことは何ですか?】



坪井 美鈴職員
らん→きら

お散歩に行ったり、利用者様と関わるのが楽しいです。



丸山 智美職員
にこ→とも

ともで行なっている作業やダンス、制作が新鮮で楽しいです。



長藤 正彦職員
とも→にこ

何が楽しいって全部が楽しいです。毎日笑って過ごせています。

各部門活動報告



きら

きらでは午前中天气が良い日は外に出て散歩に出掛けています。コロナ渦もあり、近場の公園や住宅街を歩くだけですが、皆さん一生懸命歩かれています。早くマスクが取れて自然の空気を吸いながら散歩に出たいものです。



とも

ともはGWに「ハウスライト製作」を行いました。小さな家のオブジェがご利用者の思い思いのデザインで彩られ、職員も思わず笑顔になってしまうような素敵な作品が次々と出来上がりました。最後はお家を小さな明かりでライトアップ♪窓から覗く優しい明かりを皆さん穏やかな表情で眺められていました。普段とは少し違った、ゆったりとした時間をみんなで一緒に過ごすことが出来ました。(^^)



ららん

6月の玄関を飾るのは【アジサイとカタツムリ&カエルさん】です。アジサイは赤と青の色水を紙皿に盛った白い紙へスポイトで一滴ずつ垂らして染めて作りました。スポイトで色水を吸い上げての色付けに釘付けになるお友だちや、重なり合う色に「きれいだね。」と笑顔になるお友だち(^_^)ららんへお越しの際は、色鮮やかなアジサイと可愛いカタツムリ&カエルさんをご覧ください。



もーと

今回は、春から新たに3名のご利用者様が増えて、パワーアップしたもーとのとある1日をご紹介します◎新1年生の子ども達は、徐々にもーとでの過ごしに慣れてきて、自分の好きな遊びをどんどん広げたり、お友達同士関わったりしながら元気いっぱい過ごしています！また、お兄さんお姉さん達も小さいお友達と一緒に遊んだり、「そろそろお片付けの時間だよ！」と、もーとの先輩としてしっかりお手本を示してくれています！



にこ

消しゴムや紙粘土を使ってのスタンプ作りをしました。好きな絵やしっかり描いたり、彫刻刀をちゃんと扱って絵を彫ったり、「何の絵を描くか」「どうやって描くか」と各々悩んだりしながら、みんなで頑張っているいろいろなスタンプを作りました。どんな出来栄になるかドキドキしながらインクを塗って紙に押ししてみると、本人も満足の出来栄の作品がたくさんできました！



「失敗」とは？

ららん 渡辺 功



小4の娘がバスケに夢中です。ミニバスケチームに入り、練習日以外にも家族で体育館に行っては、私も娘の練習に付き合っています。私も嫁もバスケ経験者のせいか、娘が上手にできないと、つつい小言が多くなります。いけませんね。そんな娘は「超」がつくほど負けず嫌い。悔し涙を流しながらもシュートやドリブルの練習を何本もしています。そんな姿を見て、今回は私が思う「失敗」に対する考え方です。

私は子どもの頃から失敗=叱責・罰則の風潮の中で育ったものですから、何かミスをする度に、「また叱られる…」と思いながら先生や先輩職員に報告に行っていました。そんな私も若い頃は後輩を叱ることも度々ありました。苦手だった先輩像になっている…と思い、色々考え、経験してきた結果、現場では叱らないようになりました。

これは甘やかしではなく、「失敗=叱責」という雰囲気にしてしまうことで、良いことが何もないと思ったからです。怒られると思えば、職員は委縮し、次からミスしないように、知らず知らずに安全策を考えるようになります。ミスしても隠してしまうことにつながるでしょう。そうすると、次の一歩が踏み出せず、不安からPDCAのPlan(計画)ばかりに時間をかけてしまい、いつになってもDo(実行)、Check(評価)、Action(改善)というサイクルが動き出しません。そうしている間に周りの環境やニーズはあっという間に変化します。PDCAを回すために、私は「失敗してもいいからとにかく、まずはやってみよう」と思うようにしています。動き出す前にあれやこれや考えすぎても、その場にならないと分からないことも沢山あります。実現現場での経験が次に動くための材料になります。何かミスがあった時に職員からも報告しやすい空気、環境を作ることが次の一歩を早めることにつながります。

新入職員の皆さん、異動された皆さんは「失敗したらどうしよう」と思うことも多いと思います。ただ、職場として一番困ることは失敗を恐って挑戦も何もしないことです。まずはどんなことも挑戦してみてください。で、初めてなので必ずミスします。そこでみんなで検証して、改善すれば良いだけです。仕事はその繰り返し。ここで私が思うことは、失敗はそこで止まってしまうことであり、動き続けている限り、いつか失敗ではなく、成功につながるということです。

娘はまだまだシュートもドリブルも上手ではありません。シュートが入らないことは「失敗」ではなく、途中で練習を諦めてしまうこと。「次の練習の時に頑張ればいいや」なんて言っていたら周りから置いて行かれます。手を変え品をかえ、すぐに修正してシュートを打ち続けられれば、いつか必ず成功します。